

<AD/HD児への対応>

AD/HD（注意欠陥多動性障害）児の特性

- 気が散りやすく忘れっぽい（不注意）
- 落ち着きがなくじっとしてられない（多動）
- 自分の気持ちをコントロールしにくい（衝動）

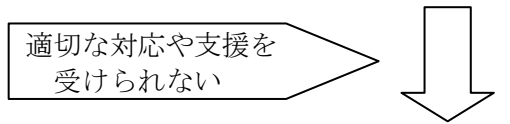
不注意型，多動・衝動型，混在型の
3つのタイプがある。

AD/HD児は失敗が多く，注意・叱責されることが多くあります。そのため，以下のような望ましくない成長をしてしまう場合があります。

7才頃 AD/HDの特性が目立ってくる。

9才頃 学力が追いついて行けなくなる。（9才の壁）

注意されることが多く，自尊心が傷つけられる。自己肯定感低下。



高学年，中学生

反抗挑戦性障害

- ・かんしゃくを起こす
- ・大人と口論
- ・要求・規則に従うことを積極的に拒否
- ・故意に他人をいらだたせる
- ・自分の失敗を他人のせいにする
- ・いらいらさせられやすい
- ・怒り，腹を立てる
- ・意地悪で執念深い



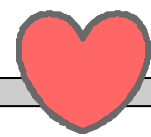
- ・他人や動物への攻撃
- ・所有物の破壊
- ・他人をだます
- ・窃盗

行為障害



◎「心を育てる」対応

よい行動パターンをとれるようにし，自己肯定感を高め，有効な自尊心を獲得できるようにする。衝動性を抑える薬物療法もある。



<医療機関等への相談>

発達障がいや子どもの発達などの相談は，医療機関や相談所があります。気になる方は，まず，学校にご相談ください。